

トムラウシ縦走

山行日：7月24日～7月26日

コースタイム：

24日：宿 5:25＝旭岳温泉駅 5:45/6:00 ロープウェイ＝姿見の池駅 6:10/6:25－旭岳 9:10/9:20－北海岳 12:00/12:10－白雲分岐 13:50/14:00－白雲小屋 14:35(泊)

25日：小屋 4:40－平ヶ岳 6:45/6:55－忠別岳 9:00/9:20－五色岳 11:15/11:25－ヒサゴ沼分岐 12:35/12:45－ヒサゴ沼避難小屋 13:27(泊)

26日：小屋 4:45－日本庭園 7:05/7:15－北沼 8:45－トムラウシ山 9:27/9:50－前トム平 12:00/12:10－登山口 16:27＝オソウシ温泉鹿の湯 18:10(泊)

北海道のど真ん中、大雪山トムラウシ大縦走は山行全日、素晴らしい晴天に恵まれ、アイヌ神々の山々、大雪溪、広大な溶岩台地、満開のお花畑、日本庭園、ロックガーデン、大雪山のあらゆる絶景を堪能できた山旅でした。重いザックにロングコースと苦しくもありましたが、それも含めて思い出深いものになりました。

大雪トムラウシ1日目 7月24日

渡辺桂子記

入会したての頃、新人仲間と「チーム百名山」を作って大雪トムラウシを縦走しようとして話していた。そのため、600のザックも購入した。が、チームは消滅し、夢幻と半ば諦めていました。そんな中、リーダーからお誘いがあり、ガイドを付けて行く、荷物の分担はあるが、食事は作ってくれるという。それなら何とかかと思いい参加しました。7月23日、千歳空港でガイドの方の出迎えを受け、夕方、旭川温泉の宿に到着。翌24日、山行初日。ロープウェイ乗り場まで車で送ってもらい、1番乗りで乗車。姿見駅からは、3日目に登るトムラウシ山がはるか彼方に見える。支度を整え旭岳に向け出発。山頂にかかる笠雲のような雲が気にかかる。

歩き出すと早速エゾノツガザクラ、アオノツガザクラ、チングルマ、エゾコザ



クラ、メアカンキンバイ、チシマクモマ
グサ、と初見の花もたくさん出現する。

旭岳石室を過ぎるとガレ急こう配になり、風も強くなる。ニセ金庫岩で休憩し、山頂へ。旭岳の広い山頂には1等三角点（名称「ぬたっく」）がある。風は強いが、360度の展望で、黒岳、北鎮岳、白雲岳、トムラウシ…とガイドが説明してくれる。



旭岳の下り頃から青空が広がり、暑くなってくる。裏旭キャンプ場を過ぎ、パ
ンダの雪渓を見て、稜線を北海岳へ。どこまでも素晴らしい展望、そして、足元
にはお花畑が続く。



そのうち、お花摘みがしたくなり、一人
2組ずつガイドから渡されていた携帯ト
イレを使ってみました。スッキリ！でも、
意外に重い！これを下山まで持ち運ばね
ばならないことに気づき、以後みんな携
帯トイレを使わずに済ませる努力をした
のでした。

白雲岳はパスして避難小屋へ。小屋利
用者は20人位で、念のため持参したテントは使わなくて済んだ。ガイドの作っ
てくれた夕食のポトフとポテトサラダ等をいただき就寝。

寒がりの私はダウン上下、防寒手袋・帽子・靴下、カイロ等々、計12キロの荷
物になりましたが、全く使わず持ち帰り、重かった

大雪トムラウシ 2日目 7月25日

藤正幸記

まさか来れるとは思ってもいなかったトムラウシ、本当にいるんだなあ。。

白雲小屋、午前3時過ぎに起床、もう外はもう薄っすらと明るくなってる。今日
も晴天だあ！遠～くにトムラウシ山が
頭出してる、ほんとにあそこまでいけ
るのだろうか???



朝食とパッキングを済ませて、4時40分、白雲小屋を出発、今日もザックが重
い。

白雲岳の中腹に位置する白雲小屋の目の前は広大な溶岩台地、さずが大雪山の奥座敷！何時間歩いても振り返れば、いつまでも白雲小屋が見えます。沢山の雪渓が残る晴天の大絶景！そこから忠別岳を向けての登りが延々と続きます。途中の忠別沼の満開のお花畑で一息！小屋を出発し歩き続けて約4時間、やっと荒々しい忠別岳に到着！



忠別岳から下って行くと向こうに見える長い尾根、五色岳へ、コルに忠別岳避難小屋が見えます。この尾根にあがるのがこれまたキツそうだ。ふ〜っ、やっとなつた五色岳からは庭園のような田代に木道が走っていて気持ちの良いトラバース、やがて、下に今日宿泊するヒサゴ沼避難小屋が見える。14時にヒサゴ沼の避難小屋へ到着！大きな雪渓が残ってます。今日も長かったなあ、重いザックのせいで肩が痛い。ちょっとボロイけど、避難小屋には泊まれそうです。テントでないだけで十分。今回、何年前にあったトムラウシ遭難死亡事故と同じコースを歩きましたが、その当時、ここの小屋に朝から降り続いた雨が内部に浸みてきて衣類が乾かない上、寝袋も濡れ寝れなかったのが主因だとの説があるようです。天気で良

かったあ！ガイドさんに作ってもらった夕飯はサンマご飯とサラダ！ありがたい、ありがたい！

大雪トムラウシ 3日目 7月26日

岩崎よりえ記

3日目大雪トムラウシ山の最終日、今日も良い天気です。さあ目指せトムラウシ山です。ヒサゴ沼避難小屋を5時前に出発、ヒサゴ沼の雪渓でアイゼンを着けるも、早朝はまだ固くアイゼンもストックも刺さり難い、先頭のガイドさんがピッケルで氷を砕いて道を作ってくれました。その後は登りの雪渓です。十分冬山を楽しみ？ました。少し時間がかかりましたが、遠望すると王冠のような形に見える美しいトムラウシ山に進みます。日本庭園のお花畑を進み足場の悪いロックガーデンをへて北沼にあと少し頑張れば山頂です。 ヤッター トムラウシ山頂です。

山頂には短縮登山口からトムラウシ山への日帰り登山客も多く狭い山頂人であふれていました。今日のハイライトで全員の写真撮影です。



名残惜しいですがトムラウシ山にさよならして下山、これからがまた長い～～～です。

3日目ともなると体力的にも辛いですが、高山植物を楽しみ ナキウサギの鳴き声を聞くと癒されます。 とは言えコマドリ沢出会いからの最後の登りの辛かったこと、仲間がいたから頑張れたと思います。 その後はダラダラと長～～い下山道です。

あと1時間位の所で年配ご夫婦のご主人がリュックを岩場に挟まれ起き上がれない状況でした。 ガイドさんがリュックを脱がし起こしてたところ足がふらつき今度は前に転びもう少しで頭を打ちそうになりました、熱中症の疑いも、そのま



まに出来ないのでガイドさんが手当てを・・・ 山行でのトラブルを目のあたりにして体調管理の大切さを実感しました。 私達も12時間近く歩き登山口へ ここで今日朝から初めてのトイレ、ホッとしました。

行きたいと思っていた 大雪トムラウシ実現できました。嬉しい瞬間でした 夢の山行の後は現実です。

台風が来ているようで飛行機は飛ぶのか？ 山行中ニュースとは無縁だったので今度は帰れるよう頑張らなければ、何とか 1日早い便が取れて帰れました。 今回の山行は、天候、ガイドさん、避難小屋に恵まれましたが、なにより、この山行を考えたリーダー 一緒に出来た皆様に感謝です。